

No.112(一九八一年一月一日合併号)から
No.146(一九八一年二月二日)

No.112(一九八一年一月一日)

三池闘争と女性向坂逸郎

八一春闘、二〇二億損賠をどうたたかうか岩井章 反撃の条件

◇全通の同志諸君に寄す◇ 階級的労働運動の思想を全面に

主体的な闘争、組織づくりが左派の課題

賃金アンケート調査は大きな成果―総評中央賃金討論集会報告⑤

誌代改定のおねがい

増刷出来！階級的労働運動への道―七〇年代労働運動の総括と

八〇年代労働運動への提言―

岩井章・灰原茂雄編著定価一二〇〇円(郵送料二五〇円) B6判―

No.113(一九八一年一月二日)

◇巻頭言◇ 鈴木首相のASEAN訪問の意味するもの

社会党大会とその後にくるもの

今こそ社会党強化に全力を！―社会党第四五回大会に想う―

「労使の思想統一」を強調する日経連報告

臨時大会まで職場討議の高揚をはかれ―総評中央賃金討論集会報告⑥―

全電通労組と「春闘見直し」論のゆくえ 同盟八一年度運動方針の特徴

誌代改訂のおねがい

増刷出来！階級的労働運動への道

―七〇年代労働運動の総括と八〇年代労働運動への提言―

岩井・灰原茂雄編著定価一二〇〇円(郵送料二五〇円) B6判―

No.114(一九八一年二月一日)

特集・理論センター報告の検討とわれわれの見解①

理論センター報告の経過とその問題点 第三章社会主義への移行と連合政権

国民連合政府以前の革新連合政府とは何か／国民連合政府の不可欠の前提／破綻が証

明された社公合意と組織的基盤ぬきの連合論／改憲阻止と反合理化を基本にすえた

「八〇年代路線」を！／プロ独裁と収奪ぬきの社会化・計画化では搾取の廃絶は不可

能／資本主義下の参加・介入で搾取の廃絶は不可能／破綻した「自主管理社会主義」

／過渡的政権下でも社会主義的計画化への漸次的接近は不可能

◇山崎耕一郎氏に聞く◇アフガニスタンの国内情勢は安定

増刷出来！階級的労働運動への道 ―七〇年代労働運動の総括と

八〇年代労働運動への提言―

岩井章・灰原茂雄編著定価一二〇〇円(郵送料二五〇円) B6判

No.115(一九八一年二月一日)

特集・理論センター中間報告の検討とわれわれの見解②

◇巻頭言◇『道』論争に寄せて

第二章国内情勢について 大内秀明主査の国家論／「理論センター報告」の国内情勢分析／飛鳥田提言の原点に帰れ

第三章国際情勢について 理論センターの任務を逸脱／「国際情勢の基本的特徴」について／「戦後体制の崩壊と国際関係の新しい組織化」について／「日米安保体制と対外路線の展開」について／「平和の積極的創出と安全保障」について
増刷出来！階級的労働運動への道 ―七〇年代労働運動の総括と八〇年代労働運動への提言―

岩井章・灰原茂雄編著定価二二〇〇円(郵送料二五〇円) B6判

No.116(一九八一年二月二一日)

◇巻頭言◇アメリカは強くなれるか

精神的影響力ということ―三池闘争二〇周年シンポジウムで考えたこと―
ポーランドのストライキ(―)―その発生の原因と問題点をさぐって―
金大中氏「政治結着」の意味とその背景
増刷出来！階級的労働運動への道

―七〇年代労働運動の総括と八〇年代労働運動への提言―

岩井章・灰原茂雄編著定価二二〇〇円(郵送料二五〇円) B6判―

No.117(一九八一年三月一日)

巻頭言◇労働運動の右傾化に逆流の息吹き

唐突に「長期路線」構想を提起

―総評第六二回臨時大会を傍聴して―

八一春闘をめぐる情勢と労働者の任務①

同盟路線に未来はない

ポーランドのストライキ(二)

―その発生の原因と問題点をさぐって―

新刊案内

新刊三月上旬発行

労働運動の右傾化に抗して

岩井章・灰原茂雄編著

定価一五〇〇円B6判・三六〇頁

No.118(一九八一年三月一日)

◇巻頭言◇注日される中東情勢

八一春闘をめぐる諸情勢

資料①統一推進会討議課題の要約

資料②社会党を支持し強める会会則(案)

右傾化阻止の条件は熟している ―八一春闘と労働者の任務②

ポーランドのストライキ(三) ―その発生の原因と問題点をさぐって―

新刊案内◇三月上旬発行 労働運動の右傾化に抗して

岩井章・灰原茂雄編著 定価一五〇〇円B6判・三六〇頁―

No.119(一九八一年三月二日)

◇巻頭言◇ニカラグア人民との国際連帯を

「国家権力への参加と介入」について⑤

―理論センター報告の問題点を切る①

資料理論センターについての中間的意見書

社会党の「民主党化」に反対します

統一推進会の合意は難行?

◇投稿◇「桃太郎侍」の世界観と

理論センター報告の権力観

全通第三四回臨時大会報告

資料全通臨時大会「大会宣言」

国際テロリズム―デマと現実

編集部からのおしらせ

新刊三月上旬発行岩井章・灰原茂雄編著 労働運動の右傾化に抗して

定価一五〇〇円B6判・三六〇頁

No.120(一九八一年四月一日)

◇巻頭言◇歴史的意味をもつ八一春闘

「国家権力への参加と介入」について⑦

―理論センター報告の問題点を切る②―

自民党の教科書リ偏向リ攻撃に反撃を!

資料三・一〇教育・教科書の反動化に反対する国民集会

国民のみなさんに訴えます

「総合精密検診」の提起と公社のねらい

―全電通労組の仲間からの投稿―

青年の意気ごみを示した団結集会 ―第一四回青年団結集会に六千六百名が結集―

深まる資本主義の一般的危機とソ連共産党大会

新刊案内◇三月上旬発行 労働運動の右傾化に抗して

岩井章・灰原茂雄編著 定価一五〇〇円B6判・三六〇頁

No.121(一九八一年四月一日)

◇巻頭言◇交運共闘が四八時間ストを決定
独占の八〇年代路線と対決する方針を！① — 理論センター報告の問題点を切る③ —

「第二次減量合理化」路線と自治体コンピュータ合理化

— 第三回自治体コンピュータ集会より①

「参加と介入」共産党路線の破綻 — 都高教役員選挙の教訓 — 1

理論センター「中間報告」に批判続出 — 関東ブロック討論集会の詳報①

仲間と信頼関係確立が春闘再構築への道 — 第一四回団結集会で考えたこと —

新刊案内◇八〇年代労働運動と反撃への道岩井章・灰原茂雄編著

定価一五〇〇円B6判・三六〇頁

No.122(一九八一年四月二一日)

◇巻頭言◇反合理化闘争再建への一歩を

高度成長と「中間報告」 — 理論センター報告の問題点を切る④ —

空理空論に終始した嶋崎答弁 — 関東ブロック討論集会詳報② —

職場闘争とコンピュータ合理化

— 「第二次減量合理化」路線と自治体コンピュータ合理化②

社会主義理論センターが「総括報告書」を提出

資料社会主義理論センター「中間報告」に関する全国ブロック討論集会の報告

奇跡をあてにできない中国経済

「ポーランドのストライキ」を読んで

四月十四日発売岩井章・灰原茂雄編著 八〇年代労働運動と反撃への道

定価一五〇〇円B6判・三六〇頁

No.123(一九八一年五月一日)

◇巻頭言◇われわれの団結を鍛えよう

雇用情勢が一段と悪化 ◇富山の仲間からの報告◇

なぜ書記局闘争リ座り込みリは一年以上も続くのか

日常闘争の改善が最大の課題 — 「第二次減量合理化」路線と

自治体コンピュータ合理化③ — 国労青婦部総決起集会の成功から考えること

◇書評◇向坂逸郎著『右傾化に抗して —

社会主義への意志と力』

隗より始めよ

南朝鮮リ国会選挙リの茶番劇

「夫の座」回復にむけて

真価問われる日教組運動

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道

岩井章・灰原茂雄編著 定価一五〇〇円B6判・三六〇頁

No.124(一九八一年五月一日)

◇巻頭言◇ 社会主義を敵視する「有事立法」粉砕を！

原子力問題とたたかひの発展

三池闘争と現代労働運動―三池の教訓からなにをどう学ぶのか―

ヨーロッパの政治経済情勢の背景―ヨーロッパの政治経済情勢①―

「多極化・多様化」と「国益論」①―理論センター「中間報告」の問題点を切る(五)

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道 岩井章・灰原茂雄編著

定価一五〇〇円B6判・三六〇頁

No.125(一九八一年五月二一日)

◇巻頭言◇八一春闘の示したもの

八一春闘は大合理化のなかでの春闘だった―八一春闘を考える①―

千葉県知事選挙の経過と教訓

準備会年内発足へ

―統一推進会「基本構想」を発表―

資料統一推進会(一九八一年五月一日)

労働戦線統一の基本構想(全文)

読者からのたより

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道

岩井章・灰原茂雄編著

定価一五〇〇円B6判・三六〇頁

No.126(一九八一年六月一日)

◇巻頭言◇都議選の意義と課題

八一春闘の総括とわれわれのたたかひ

―八一春闘を考える②―

「指令待ち」運動の脱皮が課題

―第四次京成闘争をたたかいて―

◇昭電千葉の仲間からの報告①◇

合理化は労働者に何をもたらしたか

「サミット体制」は資本主義を

組織化させた？

―理論センター「中間報告」の問題点を切る―

レバノン内戦とアラブの新時代

好評発売中岩井章・灰原茂雄編著

八〇年代労働運動と反撃への道

定価一五〇〇円B6判・三六〇頁

No.127(一九八一年六月一日)

◇巻頭言◇

社会党の「中間報告」と日米共同声明
階級闘争路線の排除による再編―「統一推進会」の「基本構想」の本質―
ミッテランの勝利をどうみるか

「教科書攻撃」に新たな展開

◇昭電千乗の仲間からの報告①◇

あと一步の努力が問われている

日本帝国主義を正しく位置づける―理論センター「中間報告」の問題点を切る⑦―
読者からのたより

好評発売中◇岩井章・灰原茂雄編著 八〇年代労働運動と反撃への道
定価千五百円(千二五〇円) B6判三六〇頁

No.128(一九八一年六月二一日)

◇巻頭言◇学習と八一国民春闘

大衆闘争路線の再構築を―春闘総括運動の一視点―
ポーランド問題について

「民主的規制」をめぐる激しい論議

―国労第一三二回中央委員会から―

「構想」による「統一」は総評の解体―総評拡大評議委員会から―

資料1 国労第一三二回中央委員会議案

労働戦線の統一と統一戦線

資料2 私鉄総連中執委

私鉄総連の統一方針

読者からのたより

好評発売中岩井章・灰原茂雄編著 八〇年代労働運動と反撃への道
定価千五百円(千二五〇円) B6判三六〇頁

No.129(一九八一年七月一日)

◇巻頭言イスラエルの侵略行為とワシントン

◇自治体労働者に寄す①◇ 地方財政危機をどうとらえるか
忘れてはならぬ一つの出来事―ソ連の社会評論家の回想―

◇京都の仲間からの報告◇ 左派大結集に明るい展望

いわゆる「第三世界」と非同盟運動

―理論センター「中間報告」の問題点を切る⑧―

アフガニスタンとデタント

読者からのたより◇編集部から

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道 岩井章・灰原茂雄編著
(B6判・三六〇頁) 定価一五〇〇円(千二五〇円)

No.130(一九八一年七月一日)

◇巻頭言◇資本主義と教育問題

◇座談会◇八一春闘をふりかえって

職場労働者に展望を与える指導を(日教組)／職場労働者の意識に依拠せよ(自治労)／全通の右傾化に大きな不安(全通)／「春闘見直し」論に不満続出(全電通)／た
たかう方針の確立が課題(私鉄・京成)／職場は正しい指導を求めている(国労)

民間企業の労資関係と労働運動

◇資料ポロランド問題について◇ポロランド統一労働者党中央委あての

ソ連共産党中央委の書簡

アメリカの軍事戦略と沖縄

読者からのたより

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道 岩井章・灰原茂雄編著

(B6判・三六〇頁) 定価一五〇〇円(千二百五〇円)

No.131(一九八一年七月二一日)

◇巻頭言◇都議選をかえりみて

◇自治体労働者に寄す②◇ 財政危機と「行政改革」

「理論センター報告」の取扱いに寄せて

七〇%をこえた労働者階級 ―八〇年度国勢調査結果から―

◇資料全通中丹支部職場委員会学習資料◇

長期抵抗大衆路線とは

〃連帯〃の二つの顔

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道 岩井章・灰原茂雄編著

定価千五百円(千二百五〇円) B6判三六〇頁

No.132(一九八一年八月一日)

◇巻頭言◇さあこれからだ

◇岩井章氏に聞く◇労働統一問題への基本視点

◇座談会八一春闘をふりかえって②◇労働運動の現状と当面の任務
生産性基準原理の浸透を評価(日経連の総括)

長期展望を示したたかえ

(労働運動家の感想)

労働運動の現情勢の特徴と任務(まとめ)

◇プリマハムの仲間からの報告◇

少数でも精神的影響力は増大

「経営参加」と「労使協議制」―理論センター報告の「参加」論批判①―

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道 岩井章・灰原茂雄編著

定価千五百円(千二百五〇円) B6判三六〇頁

No.133(一九八一年八月一日)

総評よフラフラするな

資料①第四回評議員会での富塚提案(いわゆる「五項目」)

資料②これからの具体的対応

(一九八一・七・二〇、総評)

資料③運動方針(案)修正について(四単産提出)

資料④私鉄総連の労働戦線統一方針(大会議案)

座談会◇各単産の大会方針の特徴点をさぐる

日教組総要求運動を提起

全水道少ない方針案の問題点

全通基本路線から一八〇度逸脱

全電通「政構研」との連携を明記

私鉄「民間準拠」で公労協を

はじめて批判

全国一般総評の方針待ちに不安

総評労働者の「外」をみている方針

国労反合理化闘争に弱点

工場統廃合で修正案可決

—全専売第ご一七回大会報告—

総評に妥協を要望

—電機労連第二九回定期大会報告—

No.134(一九八一年八月二一日)

◇巻頭言◇総評の階級的再生に全力を

労働統一問題で「左派の結集」

—日教組横浜大会報告—

方針案に二八地区から修正案

—全通第三五回大会報告—

修正案に四割が賛成

—合化労連第六五回大会報告—

〓行革〓攻撃下の自治体労働運動の課題①

◇投稿◇

あなたは教壇で戦争反対をいえますか？

日刊化への力を創りつつある

『社会新報』拡大運動

中国はどこえゆく？(中国共産党六中全会について)

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道 岩井章・灰原茂雄編著

定価千五百円(千二五〇円) B6判三六〇頁

No.135(一九八一年九月一日)

- ◇巻頭言◇労戦「統一」問題で新たな動き
- ◇資料と解説◇ 総評三顧問が労戦「統一」で要望書
- ◇資料◇労働戦線統一に関する要望書
- 党員協議会か「支持する会」か — 私鉄総連第四五回大会 党員協議会を中心に—
- 「責任ある指導と執行体制」を約束 — 国労第四三回大会報告—
- 代議員は総評の〃現実路線〃に大きな不安 — 都市交第四六回大会報告—
- 労戦問題で総評に不満続出 — 全水道第三一回大会報告—
- 基本路線は擁護、路線論議は来年結着? — 全通第三五回大会報告—
- ポーランド統一労働者党大会は何を決めたのか

No.136(一九八一年九月一日)

- ◇巻頭言◇労戦「統一」問題と総評
- 全山全職場の統一ストライキを設定—全林野第三四回大会報告—
- 反合闘争で大激論—国労第四三回大会傍聴記①—
- ◇資料と解説◇ 内山光雄氏らが総評運動研究会を結成
- 資料 総評運動研究会へのよびかけ
- 「援助」を名目に米はポーランドに干渉
- ソ連の軍事費は米を上回っているか?
- 好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道 岩井章・灰原茂雄編著
- 定価千五百円(千二百五十円) B6判三六〇頁

No.137(一九八一年九月二一日)

- ◇巻頭言◇公明党の自衛隊容認と社公合意
- ◇座談会◇組合大会をふりかえって①
- 国労反合闘争、組合民主主義が争点／全電通「参加」路線の破綻はますます明らか／
- 日教組教育の荒廃と／現場管理の強化は一体／全通反合闘争の実践で／基本路線を守
- ろう／総評労戦「統一」の本質をあばく論議を／全国一般反合闘争の再構築が課題
- 左派組合の伝統と〃困難〃
- 全金第四八回大会報告—
- 激しいが〃同志愛〃にみちた論争
- 国労第四三回大会傍聴記(二) —
- イスラムと発展途上諸国の思想・政治闘争
- 好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道
- 岩井章・灰原茂雄編著 定価千五百円(千二百五十円) B6判三六〇頁

No.138(一九八一年一〇月一日)

◇巻頭言◇院内会派づくりとその本質

「シベリア出兵」と日本

―「ソ連脅威論」の虚構①―

ミッテラン政権の真価はこれから

アンゴラ情勢について

◇座談会組合大会をふりかえって②◇

課題は反合闘争の再構築

全水道「民間準拠」に強い不安

私鉄運制審答申は私鉄版臨調

全林野自信のもてる反合闘争を

労戦注目される私鉄の動向

日経連五〇年に一度の再編成に熱い眼

自治労労戦、行革で激しい論議

資料1当面の労戦統一への対応(総評、八一・九・七)

資料2九州ブロック県評事務局長会議の「意見書」

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道

岩井章・灰原茂雄編著

定価千五百円(千二五〇円) B6判三六〇頁

No.139(一九八一年一〇月一日)

◇巻頭言◇

理論センターの「討論総括」について

労戦「統一」と「道」見直しは一体

―社会党をめぐる情勢について―

社会党郡本部大会の課題

私鉄・東武労組で「基本構想」反対の修正案可決

資料1東武労組大会の「修正案」(全文)

資料2国労が労戦「統一」で要請書(一九八一・八・二五)

「五項目補強見解」は受け入れぬ

―ゼンセン同盟大会で宇佐美氏表明―

「赤字・倒産攻撃」とのたたかいのなかで

―全造船機械労組大会報告

書評岩井章著『階級的労働運動論』

復活したクメール民族

ソ連の一部商品の小売価格改訂について

No.140(一九八一年一〇月二一日)

◇巻頭言◇大木委員長らの横暴を許すな

「付帯決議」は通らねばならぬ当然の関門

―社会党東京都本部大会報告―

資料1党務報告を承認するにあたっての付帯決議

資料2大会議長・運営委員長の談話

資料3「党務報告を承認するにあたっての付帯決議」のとりあつかいについて

資料4第二日目の議長集約

資料5全電通の八一年度運動方針から

総評三顧問が労戦「統一」で討論集会

―総評に反撃の条件高まる―

資料6総評五項目補強見解を厳守し、総評労働運動を強める討論集会への参加のよびかけ

資料7選別主義を排除し、たたかう夏の労戦統一へ(東武労組大会での永瀬委員長あいさつ)

資料8総評民間六単産の「申入書」(一九八一・一〇・八)

ソビエト政権と国境問題

―「ソ連脅威論」の虚構②―

No.141(一九八一年一月一日)

◇巻頭言◇東京を千葉、福島にするな

〃大衆闘争路線〃の組織的追求に向けて
たゆみのない創意と工夫に感心

―権利問題研究会第九回集会に参加して―

◇読者に答える◇

「プロ独裁」は何への過渡期か

ミルク飲み人形のオシッコ

―総理府の対外意識調査―

ゆっくりと着実に前進する

アフガニスタン革命

―アフガニスタンで見た現実―

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道

岩井章・灰原茂雄編著

定価千五百円(千二五〇円) B6判三六〇頁

No.142(一九八一年一月一日)

◇巻頭言◇驕るもの久しからず

千葉からの報告◇新報拡大で党活動の再生を

右翼的労戦統一反対の動きに勢い

資料1 労働戦線統一に関する

労働団体間協議(一九八一・一〇・二四)

資料2 民間総会への総評事務局長議案(一九八一・一〇・二六)

ポーランドはどこへゆく

―党臨時大会、「労組・連帯」大会の意味

読者からのたより

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道

岩井章・灰原茂雄編著

定価千五百円(千二五〇円) B6判三六〇頁

No.143(一九八一年一月二一日)

◇巻頭言◇三正面作戦下のベトナム

左派の結集で準備会参加は破綻

―総評第六四回臨時大会の意味したもの―

資料① 総評臨時大会提出議案

資料② 総評第六四回臨時大会

議案の修正について

資料③ 総評臨時大会の集約

資料④ 日教組・当面する労働戦線統一への対応(中央委提出議案)

資料⑤ 日教組中央委での

滋賀県教組他十単組共同修正案(全文)

資料⑥ 総評強化、闘う労戦統一と

革新都知事実現のための申し入れ(国労東京地本他六単産)

資料⑦ 北海道青年婦人集会・決議文

「抵抗なくして安全なし、安全なくして労働なし」

―北炭夕張新鉱大災害に抗議する―

労働運動の右傾化で

「窮乏化」作用の法則にはずみ

―総理府『国民生活に関する世論調査』結果から―

◇続ポーランドはどこへゆく◇

カニア第一書記辞任の背景

No.144(一九八一年二月一日)

◇巻頭言◇安保廃棄の旗を高く掲げよ

「段階的参加」は事実上の選別

「行政改革」は体制的合理化の——「行革」の本質とたたかい①——

右翼勢力の増大に警戒を④

仲間とともにたたかうことを確認——社青同全国交流集会報告——

レーガン政権の虚構——国際情勢理解のために——

資料ポーランド統一労働者党中央委アピール

◇号外発行のお知らせ◇

好評発売中岩井章・灰原茂雄編著 八〇年代労働運動と反撃への道

定価一五〇〇円(千二五〇円) 6判三六〇頁

No.145(一九八一年二月一日)

◇巻頭言◇鷹とニワトリ

問われる社会党・総評の路線

いわゆる総評の「新構想」について

軍事力増強を打ち出した同盟——同盟運動方針案の問題点を切る①——

資料①岩井章氏が社会党に要望書

「社公合意」の破綻は明確

資料②東京都本部の統一回復についての調停案

資料③労戦「統一」についての十単産「要望書」

独占に奉仕する「理念と課題」——行政改革の本質とたたかい②

緊急号外発行のお知らせ 「八二春闘への実践的提起」

好評発売中◇八〇年代労働運動と反撃への道 岩井章・灰原茂雄編著

定価千五百円(千二五〇円) B6判三六〇頁

No.146(一九八一年二月二日)

◇巻頭言◇いま「現実対応」とは何か

実をとったのはだれか——総評拡大評議員会決定の意味するもの——

資料①統一準備会発足に当たって(当面する労線統一への対応)／資料②原案への追加補強／資料③労線統一に関する労働団体間協議・補強修正／資料④四単産共同修正案／資料⑤四単産「声明」／資料⑥総評規約第十七条／資料⑦宇佐美同盟会長発言の撤回を求める(総評)

労働者と国民の利益に敵対——同盟新運動方針案の特徴②

「民主的行政改革」とは無縁——行政改革の本質とたたかい③——

小さな一歩から大きな前進を——「大衆闘争路線」の組織的追求に向けて——を読んで

「反ソ宣伝」の第一歩は歴史の捏造——「ソ連脅威論」の虚構——③

号外発行のお知らせ